

薬学部

〈創立年:1979年 会員数:4,900名〉



薬学部  
同窓会会長

田中 稔泰

薬学部同窓会は1979年に発足し、全国16の支部(道内6、道外10支部)で活動を行っておりますが、近年は会員数の増加に伴い支部の細分化の動きが出ているところであります。各支部におきましては、医療薬学セミナーと同時に総会や懇親会を毎年開催し、その地域での薬業や医療に関する情報交換を行っているところでありますが、最近では歯学部や他学部の同窓会とも連携したセミナーの開催を行っている支部もあり学部の枠を超えた活動が始まっております。また、全国規模では、毎年開催される日本薬剤師会学術大会において、開催地の支部が当番幹事となり、懇親会とセミナーを開催しております。昨年は大阪大会で関西支部が中心となり、全国から約80名の卒業生が集まり情報交換と懇親を深めることができました。同窓会の活動は高のように会員同士の交流を深めながら、それぞれの仕事やモチベーションを高

めることを一つの目標としておりますので、全国の同窓生が一様に参画できるような支部役員との協力を得ながら活性化を図ってまいりたいと考えております。また、大学への寄与に関しては、在学生も同窓会の準会員としておりますので、入学時に行われる定山温泉での宿泊研修にも同窓会として参加し、卒業生の講演や新入生の交流が深まるようゲーム大会等を開催しているところであります。また北海道薬学大会での発表の支援や同窓会が主催するセミナーにも参加できるよう準備を進めているところであります。このように我々同窓会としても、入学時から学生に対して支援を行い、大学に寄与できるように努力してまいりたいと考えております。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~phalumni/>

歯学部

〈創立年:1984年 会員数:約2,800名〉



歯学部  
同窓会会長

蓑輪 隆宏

学園関係者の皆様におかれましては、益々清栄の段お喜び申し上げますとともに、歯学部同窓会の会務運営に対し格別のご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

会員の親睦と学部の発展に寄与することを主な目的として本会が設立されたのは1984年のことでした。

光陰矢のごとし。と申しますが、早いもので今年、設立30年を迎えます。

この間、我々を取り巻く歯科界の環境は大きく変化し厳しさを増しましたが、その反面、国民の口腔の状況は30年前より明らかに良くなりました。

この口腔の健康の維持、増進に私共、本学卒業生が歯科医師の一人として関わったことはとても嬉しいことであり誇りであります。

このように歯科医師として社会に貢献できた喜びや誇りを持たれたのは歯科医師になれたからであります。改めて我々を歯科医師に育て上げてくれた母校

の存在に感謝致します。

本会はこの感謝の気持ちを形に表したく、COME BACK HOME -30年の軌跡に感謝、さらなる未来へのテーマで本会設立30周年記念事業を本年9月に開催させていただきます。

この節目の事業開催が本会設立目的の再確認の場になればと考えております。

新たな30年に向けてこれから仲間とともに明るく、楽しく、逞しく頑張りたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~d-alumni/dousokai-honbu@clock.ocn.ne.jp>  
事務局 札幌市北区北6条西6丁目2-11第3山崎ビル4F  
TEL 011-299-9069 FAX 011-299-9609

看護福祉学部/看護学科・札幌医療福祉専門学校/看護学科

〈創立年:1997年 会員数:約2,000名〉



看護学科  
同窓会会長

川村 武昭

福慧会(看護学科同窓会)は1997年に発足して、今年度で17年目を迎えました。また、昨年度、看護福祉学部は創設20周年を迎え、新たな一歩を踏み出し始めました。ひとえに卒業生の皆さまを始め、大学並びに諸関係団体の方々の日頃からのご協力のお陰であることに感謝しております。

主な活動内容としては、臨床福祉学科と協働で取り組む看護福祉学部同窓会セミナーと看護福祉学部学会の企画及び運営を主軸に、4学部及び歯科衛生士専門学校とともに協働で開催する同窓会連絡協議会や北海道医療大学同窓会コラボ☆講演会があります。また、これらの活動状況や各地で活躍する同窓生の近況報告等を卒業生の皆さんにお伝えするものとして会報誌(Fukueikai)の発行やホームページの運営、そして同窓生同士の繋がりを保つものとして福慧会会員名簿の発行を3年毎に行っております。そして、同窓会活動について検討する場として同窓会理事会を定期的に開催しており、活動の幅は年々広がりをみせています。

今年度は学部長の交替をはじめ、本学部が創設されてからの21年間、看護の発展と学生の育成に心血を注がれてきた先生たちのご退職など、学内において大きな変化がありました。17年前、会員名簿の管理やクラス会の開

催の呼びかけなど、ごく身近な活動から開始した同窓会活動ですが、今では会員数は2,000名を超え、ここ数年からは他学部の同窓会とともに活動する機会を持つまでになりました。会員数の増加や活動の広がりとともに感じられるようになってきたことは、同窓会活動にも変化が求められていることとです。「同窓会とは何か」「同窓会活動が目指すものは何か」について、今こそ考えて行動することが必要な時期に差し掛かっているように感じる今日この頃です。

これからも様々な場所で奮闘している同窓生の皆さんの縦と横の繋がりを大切に紡ぐ活動を続けていきたいと考えております。各期の代表である幹事と理事一同で常に足下を見直していきながら、同窓生同士の交流と学校との繋がりを大切にした同窓会を目指して、これからも活動を盛り立てていきたいと考えております。随時、ホームページや会報誌をとおして活動状況をお伝えしておりますので是非ご覧ください。皆さまからのご意見やご要望をお待ちしております。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~kango/kango@hoku-iryu-u.ac.jp>

看護福祉学部/臨床福祉学科・札幌医療福祉専門学校/介護福祉学科

〈創立年:2000年 会員数:約2,000名〉



臨床福祉学科  
同窓会会長

小畑 友希

今年度の同窓会活動は、これまでの蓄積が形となり繋がりはじめた年でありました。

同窓会セミナー(5月)は、近年話題となっている「エンディングノートの綴り方講座」と題して開催し、同窓生だけでなく一般の参加もあり有意義な時間を持つことができました。学部学会(9月)では、「認知症ケアと他職種連携」のシンポジストとして、後藤英彰副会長が発表し専門研修の一役を担いました。また、今年度から「コラボ☆講演会」(3月)に本格的に参画させていただき、他学部同窓会と連携した取り組みを行っています。ホームページも充実してきて

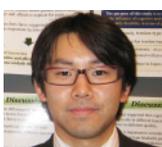
おり、特に「リレーエッセイ」のページは、懐かしのあの同級生や先輩の様子がかげます。ぜひアクセスしてみてください。国家試験対策講座は、卒業生に試験勉強のコツや対策などを紹介してもらう内容で2年前から始めました。今年はきっと合格者が増えることをご期待ください!

これらの活動は、同窓生をはじめ多くの関係者の皆様方に支えていただき成り立っています。この場をお借りして心より感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

[fukudo@hoku-iryu-u.ac.jp](mailto:fukudo@hoku-iryu-u.ac.jp)

心理科学部/臨床心理学科

〈創立年:2006年 会員数:約500名〉



臨床心理学科  
同窓会会長

本谷 亮

平素、同窓会活動へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

役員9人体制での運営も2年目に入り、情報網や協力体制が構築され、活動に幅が増しました。今年度も同窓会セミナーの企画、実施、および会報誌の作成、発行を活動の柱として行って参りました。今年度のセミナーは、6月(第1回)に障害者スポーツの領域でご高名な及川晋平先生をお招きし、「変わりゆく障害者スポーツの世界 ～NO EXCUSEの取り組みとロンドンパラリンピックでの発見を通して～」というテーマで講演いただきました。同窓生の参加者に加えて、在学生も多数参加され、同窓生同士の交流に加えて、同窓生と在学生の縦のつながりが生まれたことは大きな収穫でした。また、3月(第2回)のセミナーでは、本学講師でおられた高瀬由嗣先生に「心理アセスメント業務における科学的接近法と現象学的接近法」のテーマで講演いただく予定です。同窓会セミナーでは、来年度も一般向け、専門職向けの2回のセミナーを企画しております。

facebookやlineなどのSNSが普及することで、これまで連絡をとらなかった友人・知人、あるいは遠方の方との交流が可能となるなど情報交換の利便性は上がりました。一方で、直接会うことによって得られる情報や深まる関係性もありません。紙面のような形として残る資料の存在もまた人と人との交流には重要です。本同窓会は、後者の点でも同窓生同士を結ぶ活動をして参りたいと思っております。大きな改革は難しいかもしれませんが、地道でも着実な活動を続けるとともに、専門職のみならず一般職への就職も多いという臨床心理学科同窓生の多様性を十分に活かしながら、今後も同窓生の満足につながるよう活動を企画し、運営を進めていきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~p.dousou/shinri-dousokai@hotmail.co.jp>



言語聴覚療法学科  
同窓会会長

伊藤 健

あいの里ST会(言語聴覚療法学科同窓会)は前身の札幌医療福祉専門学校言語聴覚療法学科同窓会から通算し創立20周年目を迎えました。この間、脈々とあいの里ST会が成長し活動を行えたのも、現在全国各地で活躍している、同窓生をはじめとした皆様のご理解とご尽力の結果によるものと厚くお礼申し上げます。

今年は診療報酬改定の年です。超少子高齢社会を迎えるにあたり今後を見据えた内容へ改定されることが予想されます。脳血管疾患等リハビリテーション料(廃用症候群に対する)の見直しや、摂食機能療法(胃瘻増設患者に対する)の見直しの中には専従の言語聴覚士が1名以上配置される施設であり、リハビリを実施した患者全体の35%以上が経口摂取可能になるように回復させるなど具体的な数値が明記される予定です。つまり今後は、STが摂食機能療法などの言語聴覚療法を提供した際には、リハビリを実施したことで患者様が改善したことを裏付けることが可能な具体的かつ客観的なデータ(数値)の提示が求められる医療へと変わってくると考えられます。厳しい医療情勢であることは変わりませんが、医療に携わる仕事をしているからにはリハビリを必要とする患者様に適切なリハビリの提供をしていくことが大切であると思います。

今年も、役員会の実施、定例の総会開催や会報発行、「言語聴覚療法学科公開講座」、北海道医療大学同窓会コラボ講演会、各同窓会との「同窓会連絡協議会」の開催、さらなる同窓会ホームページの充実、ネットワーク形成など一つ一つではありますが、今できることを確実に改良・修正をし、同窓会活動の活性化を図っていきたくと考えております。

これからも大学や他学部・学科同窓会との繋がりを大切に、今後さらに、言語聴覚士の“北の拠点”として運営努力を重ねていきたいと考えております。

[st-kai@hoku-iryo-u.ac.jp](mailto:st-kai@hoku-iryo-u.ac.jp)

北海道医療大学同窓会支部連絡先

■薬学部

支部名	支部長(期)	連絡先
札幌支部	多田 正人(4)	☎011-812-2311
道北支部	伊藤 裕康(14)	☎0166-35-5201
十勝支部	中村 章(1)	☎0155-62-0611
道南支部	小林 隆宏(8)	☎0138-46-4651
釧根支部	徳田 宏司(6)	☎0154-52-5052
オホーツク支部	新井 俊(10)	☎0157-31-3310
青森支部	三上 章(1)	☎017-729-0330
栃木支部	橋本 秀雄(3)	☎0282-27-2264
茨城支部	西野 郁郎(1)	☎0293-42-0239
北越支部	杉本 雅規(3)	☎0761-43-1151
神奈川県支部	川田 哲(3)	☎045-742-2301
東海支部	高尾 信彦(2)	☎053-451-0821
関西支部	新井 淑子(1)	☎078-261-2231
中四国支部	勝原 聡(3)	☎082-291-2104
九州支部	山田 昌人(3)	☎0965-52-5750
沖縄支部	伊波 重宏(5)	☎098-874-1818

■歯学部

支部名	支部長(期)	連絡先
北海道支部連合会	加藤 友一(4)	かとう歯科医院 ☎0134-23-8348
青森県支部	佐藤 孝治(2)	佐藤歯科医院 ☎0172-36-0412
秋田県支部	竹内 享(7)	竹内歯科医院 ☎0182-22-2001
岩手県支部	宮川 和亮(5)	宮川歯科クリニック ☎0198-23-1070
宮城県支部	佐々木 隆二(6)	ささき歯科 ☎022-383-8849
山形県支部	芳賀 俊和(5)	芳賀歯科医院 ☎0238-84-8107
福島県支部	早坂 弘(4)	早坂歯科医院 ☎0248-24-6480
茨城県支部	秦 博文(2)	秦病院 歯科 ☎0294-36-2551
栃木県支部	斎藤 真一(3)	斎藤歯科クリニック ☎0285-27-1234
群馬県支部	篠崎 広治(1)	しのざき歯科医院 ☎0276-48-0118
埼玉県支部	上野 洋(5)	上野歯科医院 ☎048-756-4499
千葉県支部	寺山 功(4)	葉山歯科医院 ☎0471-64-6480
東京都支部	石野 善男(2)	二子玉川ガーデン矯正歯科 ☎03-5491-5454

支部名	支部長(期)	連絡先
神奈川県支部	宮平 暁(5)	みやひら歯科 ☎045-590-4601
山梨県支部	白壁 正光(8)	しらかべ歯科医院 ☎0555-72-4182
富山県支部	藤川 晃(5)	藤川歯科医院 ☎076-483-2231
石川県支部	久保 伸一郎(2)	粟津歯科医院 ☎0761-44-4852
新潟県支部	布施 路子(6)	静雅堂歯科医院 ☎025-723-8840
長野県支部	小池 文一(2)	小池歯科医院 ☎026-224-1482
愛知県支部	木村 英雄(1)	こめの歯科医院 ☎052-451-1182
京都府支部	相模 宣伸(5)	サガミ歯科医院 ☎075-311-2773
大阪府支部	西 一幸(1)	西歯科医院 ☎06-6793-7500
広島県支部	早志 卓展(6)	たかひろデンタルクリニック ☎082-422-9600
四国支部	谷本 良司(3)	医療法人谷本歯科医院 ☎0883-42-2069
九州支部	清川 宗克(3)	清川歯科・口腔外科クリニック ☎092-822-8805
沖縄県支部	玉城 均(1)	ながた歯科医院 ☎098-854-1182

■看護福祉学部 ☎0133-23-1211

- 看護学科(内線3688)担当:明野(実践基礎看護学講座)
- 臨床福祉学科(内線3708)担当:池森(医療福祉臨床学講座)

■心理科学部 ☎011-778-8931(学務部 心理科学課)

- 臨床心理学科
- 言語聴覚療法学科

歯学部附属歯科衛生士専門学校

〈創立年:1991年 正会員数:約1,000名、準会員:23名〉



歯科衛生士専門学校  
同窓会会長

梶 美奈子

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと拝察致します。

また、日頃は当会の活動・運営に関しまして、何かとご指導・ご協力賜っておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

現在同窓会員数は、1,000人を超えて同窓会の活動も徐々に充実して参りました。しかし、毎年開催されるセミナーや総会でお会いできるのは皆様顔なじみの方々が多く、なかなか若い卒業生や同窓会員に参加していただけていないのが現状です。セミナーの内容や講師選出につきましても役員総出で吟味しておりますが、是非会員の皆様からのご意見やご要望を賜りたいと考えております。また、2013年の新しい試みとして9月の総会に合わせて同窓会員の為の懇

親会を企画しました。今後も継続して行く所存ですので皆様お気軽にご参加いただきたいと思います。日頃の仕事の悩み、あるいは子育てに一段落して仕事に復帰したい方など情報交換に最適な機会になると思います。

同窓会会員並びに卒業生の皆様におかれましては、「母校とは、遠くにおいて思うもの」ではなく、本学・同窓会の催し物に、是非共にご参加頂き初々しい学生時代を思い出していただければ幸いです。

今後も変わらないご支援とご協力をお願いし、ご挨拶と致します。

<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~katakuri/okahashi@hoku-iryo-u.ac.jp>

歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会支部連絡先

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 ☎0133-23-1211(内線3482)担当:大山・岡橋

卒業生を対象とした各セミナー・  
公開講座に関するお問い合わせ先

広報・教育事業部  
教育研究推進課 ☎0133-23-1129(直通) e-mail:nice@hoku-iryo-u.ac.jp